

沿革

明治グループは1916年の創業以来、すでに一世紀を超える歴史を積み重ねています。この間、常に社会の情勢やお客さまのニーズの変化を捉え、時代の先を行く価値を創造し、新たな需要を次々と起こしてきました。こうした「市場を創出する力」こそ、明治グループの成長の源泉です。

1910	1920	1930	1940	1950	1960	1970	1980
菓子		医薬品		乳業			
<p>1916 明治製菓の前身、「東京菓子株式会社」設立</p> <p>当時、大衆文化が隆盛し、増大する菓子需要に応えるべく設立された東京菓子株式会社に、製糖事業を営む明治製糖株式会社が出資し、1924年、商号を明治製菓株式会社へと変更。</p>		<p>1946 医薬品事業を開始</p> <p>戦時中の1944年から「ペニシリン」の研究に着手し、培養に成功。量産体制を確立して医薬品事業に進出。</p>		<p>1917 明治乳業の前身、「極東煉乳株式会社」設立</p> <p>1910年代より菓子原料となるバターや粉乳、練乳などを製造販売する乳事業に進出していた明治製糖が極東煉乳株式会社に資本参加し、1940年、商号を明治乳業株式会社へと変更。</p>			
<p>1926 「ミルクチョコレート」発売</p>		<p>1946 ペニシリンの製造開始</p>		<p>1921 練乳「明治メリーミルク」発売</p>			
<p>1961 「マーブルチョコレート」発売</p> <p>1962 「アーモンドチョコレート」発売</p> <p>1969 チョコレート「アポロ」発売</p>		<p>1950 抗生物質「ストレプトマイシン明治」発売</p> <p>1958 日本で発見され、初めて海外に輸出された抗生物質「カナマイシン明治」発売</p>		<p>1923 育児用粉乳「パトローゲン」誕生</p> <p>1928 「明治牛乳」発売</p>			
<p>1975 チョコスナック「きのこの山」発売</p> <p>1980 スポーツ用プロテイン「ザバス」シリーズ発売</p>		<p>1975 イネいもち病防除剤「オリゼメート」発売</p>		<p>1971 日本初のプレーンヨーグルト「明治プレーンヨーグルト」発売</p> <p>1973 「明治ブルガリアヨーグルト」発売</p>			

1990	2000	2010	2020
統合		再編	
食品セグメント		医薬品セグメント	
<p>1988 「果汁グミ」発売</p> <p>1996 新食感チョコレート「ガルボ」発売</p> <p>1997 「キシリッシュガム」発売</p> <p>1998 「チョコレート効果」発売</p>		<p>2009 共同持株会社「明治ホールディングス株式会社」を設立し、明治製菓・明治乳業が経営統合 → 詳細はページ下へ</p> <p>2008 ジェネリック医薬品 高血圧症治療薬「アムロジピン明治」発売</p> <p>2009 抗うつ薬「リフレックス」発売</p>	
<p>1990 日本初のMRSA感染症治療薬 抗生物質「ハベカシン」発売</p> <p>1994 抗生物質「メイアクト」発売</p> <p>1999 抗うつ薬「デプロメル」発売</p>		<p>2011 食品事業会社「株式会社 明治」発足</p> <p>2011 医薬品事業会社「Meiji Seika ファルマ株式会社」発足</p> <p>2018 「KMバイオロジクス株式会社」グループ会社化</p>	
<p>1992 「明治北海道十勝チーズ」発売</p> <p>1994 アイスクリーム「明治エッセルスーパーカップ 超バニラ」発売</p> <p>1995 スポーツ栄養飲料「ヴァーム」発売</p> <p>流動食「メイバランス」発売</p>		<p>2000 「明治プロビオヨーグルト LG21」発売</p> <p>2002 「明治おいしい牛乳」発売</p> <p>2007 世界初 キューブタイプの粉ミルク「明治ほほえみらくらくキューブ」発売</p> <p>2009 「明治ヨーグルト R-1」発売</p>	
<p>2011 除草剤「ザクザ液剤」発売</p> <p>2015 ジェネリック医薬品 抗生物質「タゾピベ明治」発売</p> <p>2016 統合失調症治療薬「シクレスト」発売</p> <p>アレルギー性疾患治療剤「ピラノア」発売</p>			

明治グループはこれまで、数々の製品で市場を創出してきました。

<p>チョコレート</p> <p>1926年発売の「ミルクチョコレート」で日本のチョコレート市場をけん引してきました。近年は、カカオ豆の健康効果に着目したチョコレートやBean to Barによるプレミアムなチョコレートなど、新たな価値を持つ商品を開発して市場拡大を図っています。</p>	<p>ヨーグルト</p> <p>1950年代に初めてヨーグルト製品を発売して以来、日本のプレーンヨーグルト市場を切り拓いてきました。2000年代に入ってからプロバイオティクスの特性を備えた画期的なヨーグルトを開発し、新たな健康価値を持つ商品として大きな支持を得ています。</p>	<p>抗生物質</p> <p>1946年のペニシリンの製造販売を皮切りに、1950年代に「ストレプトマイシン明治」「カナマイシン明治」を発売し、「抗生物質の明治」の評価を確立しました。その後も「メイアクト」「オラベネム」などの優れた抗生物質を開発し、感染症の治療に貢献しています。</p>
---	--	---

100年超の歴史を基盤に、経営統合・事業再編を行い、さらに成長を加速させます。

1916年に創業した明治製菓、1917年に創業した明治乳業は、ともに旧・明治製糖から派生した企業です。両社は長年にわたって商品の共同開発を行うなど、協力関係を築いてきました。

近年、日本での両社の事業は「人口減少・高齢化社会の到来による市場規模の縮小」「世界的な原材料の高騰」「社会保障費の削減」「成熟市場における企業間競争激化」などにより、従前にも増して強い競争力が求められています。一方で人々のライフスタイルや価値観は大きく変化し、「食生活の多様化」や「健康や安全への意識の向上」などのニーズに応える商品開発やマーケティングが重要な課題になっています。

こうした変化に対応するため、両社の経営資源を最大限に活用して持続性ある成長戦略を構築するべく、2009年に経営統合を図りました。その後、2011年にはグループ事業再編を実施し、競争環境・事業サイクル・諸規制などが異なる「食品」「医薬品」の事業アイデンティティを明確にしました。こうした体制のもと、中核事業の成長と統合効果の創出を加速させています。